



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 平成27年8月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	46,739	0.1	6,229	38.8	6,439	53.9	4,213	27.1
26年12月期第2四半期	46,706	△4.3	4,487	△17.1	4,184	△31.5	3,315	△23.5

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 4,314百万円(42.4%) 26年12月期第2四半期 3,029百万円(△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	103 21	—
26年12月期第2四半期	79 80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	103,770	78,615	75.7
26年12月期	101,542	75,996	74.8

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 78,563百万円 26年12月期 75,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
27年12月期	—	30 00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 なお、平成27年12月期の1株あたり期末配当金については未定です。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	5.8	11,100	26.2	11,100	5.5	7,200	△2.4	174 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	42,206,540株	26年12月期	42,206,540株
27年12月期2Q	1,389,059株	26年12月期	1,388,021株
27年12月期2Q	40,818,028株	26年12月期2Q	41,553,051株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成27年12月期の1株あたり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）の経済情勢は、米国では着実に景気が回復しており、欧州でも持ち直しの動きが続きました。中国など新興国では景気の拡大テンポが緩やかになっております。国内経済においては個人消費や設備投資、生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。為替は、前年同期に比べ米ドルは円安、ユーロは円高傾向で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場では、レンズ交換式タイプ、コンパクトタイプとも、スマートフォンの普及等の影響により、市場の縮小が続いています。ドキュメントスキャナー市場は、特にインドや中東・中南米地域などの新興国市場における文書の電子化需要の増加により市場が拡大しています。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。また、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は467億39百万円（前年同期比0.1%増）、連結営業利益は62億29百万円（前年同期比38.8%増）、連結四半期純利益は42億13百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①コンポーネント

当セグメントにおきましては、セットメーカーのニーズに的確に対応し、デジタルカメラ用シャッターユニットや絞リユニット、防振ユニット等の積極的な受注活動を展開しました。その結果、デジタルカメラ関連市場がマイナス成長の状況下ではありましたが、堅調に推移しました。

レーザースキャナーユニットは売上が増加しました。また、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制の更なる強化を推し進め、引き続き原価低減に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は260億30百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は47億59百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

#### ②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、imageFORMULA（イメージフォーミュラ）シリーズの昨年発売した新製品を中心にラインアップを一層充実させて拡販活動を展開しました。その結果、ドイツ・イタリア等の欧州市場やインド・トルコ・中東地域では販売台数が伸びたものの、参入メーカーの増加等により最大市場である米国向けの販売が落ち込んだことなどから、売上は減少しました。

ハンディターミナルは、大画面PDA端末を運輸業界に、グリップ型端末を製造業界に積極的な拡販活動を展開しましたが、厳しい状況で推移しました。

レーザープリンターは売上が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は162億7百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は20億27百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、情報関連事業において、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、業務分析サービス（ログマネジメント）、情報セキュリティ対策ソフト（SML）等の受注活動を積極的に展開しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は45億1百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は1億77百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,037億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億27百万円増加しました。流動資産は637億36百万円となり、25億68百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少、短期貸付金の増加によるものです。固定資産は400億34百万円となり、3億40百万円減少しました。うち有形固定資産は353億50百万円となり、1億96百万円減少しました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は251億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億90百万円減少しました。流動負債は199億78百万円となり、4億30百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものです。固定負債は51億77百万円となり、40百万円増加しました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は786億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億18百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.8%から75.7%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間においては、主に税金等調整前四半期純利益と減価償却費により、営業キャッシュ・フローは48億43百万円の収入（前年同期比12億16百万円増）となりました。また、投資キャッシュ・フローは新製品投資及び生産能力増強のための設備投資、貸付けによる支出により165億38百万円の支出（前年同期比141億11百万円増）となりました。フリーキャッシュ・フローは116億95百万円の支出（前年同期比128億94百万円減）となりました。一方、財務キャッシュ・フローは配当金の支払により12億25百万円の支出（前年同期比4億56百万円減）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は164億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ129億81百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、平成27年1月27日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,010億円、連結営業利益111億円、連結経常利益111億円、連結当期純利益72億円)

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が721百万円増加し、利益剰余金が468百万円減少しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,716	17,335
受取手形及び売掛金	25,592	25,259
リース投資資産	270	329
商品及び製品	1,258	1,442
仕掛品	2,339	2,394
原材料及び貯蔵品	92	92
短期貸付金	-	15,000
繰延税金資産	398	378
その他	1,500	1,503
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	61,168	63,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,815	13,278
機械装置及び運搬具(純額)	3,042	4,225
工具、器具及び備品(純額)	2,868	2,833
土地	14,486	14,486
建設仮勘定	1,334	527
有形固定資産合計	35,546	35,350
無形固定資産	1,035	1,094
投資その他の資産		
投資有価証券	734	865
繰延税金資産	2,260	1,934
その他	796	790
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,792	3,590
固定資産合計	40,374	40,034
資産合計	101,542	103,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,504	14,106
リース債務	74	99
未払費用	1,434	1,328
未払法人税等	2,335	1,835
賞与引当金	367	402
役員賞与引当金	33	15
受注損失引当金	25	33
その他	1,632	2,156
流動負債合計	20,409	19,978
固定負債		
退職給付に係る負債	4,659	4,665
役員退職慰労引当金	247	247
繰延税金負債	27	26
その他	202	237
固定負債合計	5,136	5,177
負債合計	25,545	25,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	64,450	66,969
自己株式	△2,574	△2,577
株主資本合計	76,439	78,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	300
為替換算調整勘定	1,206	1,165
退職給付に係る調整累計額	△1,895	△1,860
その他の包括利益累計額合計	△492	△394
少数株主持分	49	52
純資産合計	75,996	78,615
負債純資産合計	101,542	103,770



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	46,706	46,739
売上原価	36,762	35,270
売上総利益	9,943	11,468
販売費及び一般管理費	5,456	5,238
営業利益	4,487	6,229
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	37
為替差益	-	113
その他	55	62
営業外収益合計	80	213
営業外費用		
為替差損	357	-
その他	25	3
営業外費用合計	383	3
経常利益	4,184	6,439
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	225	-
特別利益合計	225	0
特別損失		
固定資産除売却損	11	5
投資有価証券評価損	47	6
特別損失合計	58	12
税金等調整前四半期純利益	4,351	6,428
法人税、住民税及び事業税	999	1,827
法人税等調整額	36	385
法人税等合計	1,035	2,212
少数株主損益調整前四半期純利益	3,316	4,215
少数株主利益	0	2
四半期純利益	3,315	4,213

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,316	4,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	105
為替換算調整勘定	△202	△40
退職給付に係る調整額	-	34
その他の包括利益合計	△287	98
四半期包括利益	3,029	4,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,028	4,311
少数株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,351	6,428
減価償却費	1,997	1,590
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	34
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28	△18
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	2	7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△144	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△497
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	47	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△892	292
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△107	△239
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,773	△347
その他	△861	△106
小計	6,162	7,151
利息及び配当金の受取額	25	34
法人税等の支払額	△2,560	△2,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,627	4,843
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,283	△829
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△37	△111
投資有価証券の取得による支出	△85	△2
貸付けによる支出	-	△15,000
その他	△20	△595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,427	△16,538
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,245	△1,223
自己株式の取得による支出	△434	-
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,682	△1,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△166	△60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△649	△12,981
現金及び現金同等物の期首残高	27,326	29,476
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△104	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,572	16,495

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	25,037	16,467	41,505	5,200	46,706	—	46,706
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	24	440	465	142	607	△607	—
計	25,062	16,908	41,971	5,343	47,314	△607	46,706
セグメント利益	3,571	1,600	5,171	25	5,196	△709	4,487

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,030	16,207	42,237	4,501	46,739	—	46,739
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	33	412	445	165	610	△610	—
計	26,063	16,619	42,683	4,666	47,349	△610	46,739
セグメント利益	4,759	2,027	6,786	177	6,964	△734	6,229

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。